

**製品名: TEF ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18773**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45-55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TEF
別名	TEF; KIAA1655; Thyrotroph embryonic factor
遺伝子 ID	7008.0
SwissProt ID	Q10587
免疫原	抗血清はヒト TEF 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

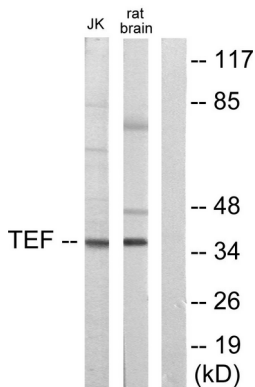
**背景**

TEF、PAR bZIP 転写因子 (TEF) Homo sapiens この遺伝子は、塩基領域/ロイシンジッパー (bZIP) 転写因子の PAR (プロリンおよび酸性アミノ酸に富む) サブファミリーのメンバーをコードしています。成体動物では広範囲の細胞および組織で発現しますが、胚発生

中、TEF の発現は、甲状腺刺激ホルモンベータ (TSHB) の出現と一致して、発達中の下垂体前葉に限定されているようです。実際、TEF は TSHB プロモーターに結合してトランス活性化できます。これは、アルブミン D ボックス結合タンパク質 (DBP)、ヒト肝白血病因子 (HLF)、ニワトリ ビテロジェニン遺伝子結合タンパク質 (VBP) など、PAR-bZIP 転写因子サブファミリーの他のメンバーと (機能ドメインで) 相同性を示します。VBP は、TEF のニワトリ相同遺伝子であると考えられています。このサブファミリーの異なるメンバーは容易にヘテロ二量体を形成し、DNA 結合および転写調節機能を共有します。機能: TSHB プロモーターに結合し、転写を活性化する転写因子。最小 DNA 結合配列 5'-[TC][AG][AG]TTA[TC][AG]-3'に結合します。誘導: ロバストな概日リズムに従って蓄積します。類似性: bZIP ファミリーに属します。類似性: bZIP ファミリーに属します。PAR サブファミリー。類似性: 1つの bZIP ドメインを含みます。サブユニット: ホモ二量体またはヘテロ二量体として DNA に結合します。DBP とヘテロ二量体を形成できます。

## 研究分野

## 画像データ



TEF 抗体を用いた Jurkat 細胞およびラット脳細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



TEF ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。